

ゆとりある豊かな農村郷をめざして

活動対象：美瑛町 赤羽地域9戸

赤羽地区では水稲・小麦の作付面積が多く、収量向上とコスト削減が求められている。

小麦栽培技術の定着に5戸が取り組み、適正は種の意識が向上した。水稲の規模拡大に向けた取り組みでは、疎植栽培の特性が理解された。生産原価分析結果を活用した経営改善では、経費に対する意識が高まり、経営分析からリン酸低減肥料を使用し、コスト低減を図った。

1 課題の背景

- ◆赤羽地区：平均33ha。水稲・畑作中心の複合経営。経営主平均年齢52歳
- ◆基幹作物の経営に与える影響が大きい ⇒ 水稲・小麦の収量向上、コスト低減が必要
- ◆離農地の引き受けによる規模拡大 ⇒ 省力技術・過重労働の軽減が必要
- ◆農業者からの経営改善を望む声 ⇒ 経営管理の支援が必要

具体的推進事項

基幹作物の安定生産

農作業労働の軽減

経営管理能力の向上

2 活動の経過

① 水稲の規模拡大に向けた疎植栽培の取組み(H28~29)

- ◆展示ほの設置
- ◆現地研修会

疎植栽培の実用性を検討

② 農作業軽減のためのアシストスーツ導入支援(H28~29)

- ◆活用方法の検討
- ◆実演会の実施

軽労化の提案



③ 小麦栽培技術の定着(H28~R2)

- ◆定点調査(各戸1ほ場)
- ◆青空教室・栽培講習会
- ◆共励会の実施

実態に基づく栽培技術を提案



④ 水稲・畑作物のコスト削減技術の導入(H30~R1)

- ◆土壌診断・適正施肥の提案
- ◆展示ほの設置(水稲、ばれいしょ、てんさい)

リン酸過剰ほ場における低リン酸肥料活用を提案



後継者も一緒に

⑤ 簡易経営診断の実施(H30)

- ◆クミカンを利用した簡易的な経営診断の実施

⑥ 生産原価の把握(R1)

- ◆「農産物生産費集計システム」における原価計算の提案

⑦ 生産原価分析結果を活用した経営改善(R2)

- ◆低リン酸肥料の活用による肥料費削減の実施

経営把握・
経営改善の支援



3 活動の成果

① 水稻疎植栽培の取組み

項目	栽培方式		考え方・留意点
	疎植	慣行	
品種	ななつぼし		加工用途米での導入が望ましい
株間	16cm	13cm	
育苗様式	成苗ポット		中苗マットには適さない
必要苗箱	39枚/10a	48枚/10a	
苗節減率	19%		
減収率	5~7%		

◆試験結果から疎植栽培の特性について理解された

育苗ハウスの面積が不足したら検討しようかな

導入条件の整理につながった

② アシストスーツ導入支援

- ◆1戸でアシストスーツを導入
- ◆4割が「体の負担を感じるようになったら導入を検討する」と回答

アシストスーツの効能が理解された

④ コスト削減技術の導入

- ◆試験結果から生育収量に影響がないことが確認された



経営改善で技術が活用された

③ 小麦栽培技術の定着

品種	きたほなみ						ゆめちから						実施率(%)		
	C	D	F	I	M	K	A	C	D	G	K	L	R2	R1	
農業者															
評価項目	は種期	○	早	早	○	○	遅	早	○	早	○	○	早	50	46
	は種量	多	多	○	多	○	○	○	○	○	○	○	○	75	54
	雪腐病防除実施	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	92	92
	窒素施肥量	多	多	多	多	多	多	多	多	○	多	○	多	17	23
【判定】3項目以上が適正	○						○ ○ ○ ○ ○								

◆5戸で3項目以上を適正に実施

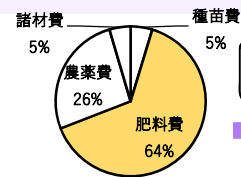
他農業者の栽培技術やほ場を意識するようになった!

は種量・は種時期が改善した

⑤ 簡易経営診断の実施

- ◆6戸が取り組み、収支をグラフで示し、経営成果が視覚的に理解された

水稻直接費 (農業者A)



肥料を替えると

⑥ 生産原価の把握

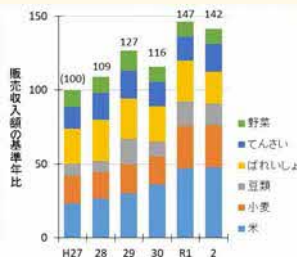
- ◆4戸が原価計算をし、費用構造を把握した

⑦ 経営改善

- ◆3戸で低価格肥料を用い、肥料費を削減した

経営分析結果をもとにコストを削減した

肥料区分	施用方法	肥料銘柄	施用量 (kg/10a)	肥料費 (円/10a)
慣行	全層	BB424	40	3,748
	側条	3414	12	—
低リン酸	全層	BB565	37	2,686
	側条	3413	12	—
低減肥料の肥料費削減効果				1,062



5年間取り組んで

- ◆基幹作物である水稻・小麦の販売収入が安定した
- ◆生産技術が向上したことにより、品質・収量が安定化した

普及センターの技術を基準に自分でアレンジするようになった!

地区全体の小麦のレベルが底上げされた!

4 今後の課題

基幹作物の安定生産

- ◆小麦の安定化に向けた輪作体系の再構築
- ◆土壌物理性改善の実施

経営管理能力の向上

- ◆経営分析の継続、経営改善の検討
- ◆経営分析を通じた農業後継者育成